

有限会社出雲グレンダリー

■事業

大型重量製品の研削工程見直しによる生産性向上・
新規受注獲得と作業環境改善

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

バリンダー X5i-FDH22-57T 型

経営理念

仕事に追われるな 仕事は追っていけ

鑄造会社の敷地内に工場操業 歩調を合わせながら成長

ベアリングの軸受けなどのバリ取り(研削)をメインに鑄物部品加工を手掛け2022年に創業50周年を迎えた有限会社出雲グレンダリー。出雲市灘分町にある鑄造会社の協力工場として成長してきた。

今岡裕代表の父で創業者の栄一氏が1972年に同市内の製鋼所を退職して独立。鑄造会社が新工場を立ち上げたのを機に、同工場の敷地内にて操業を開始し、協力会社としてベアリング軸受けのバリ取りを受注した。多品種小ロットの受注ではなく、少品種大ロットの発注があると見込みでの操業が奏功し、鑄造会社が成長するのに歩調を合わせるように業績を伸ばした。

ボックス形の研削機で 粉じんを出さず環境改善

一定の受注がある一方、従業員が熟練度を高める中で高齢化も進行。製品の10%を占める大型重量製品のバリ取り工程は、重労働で危険度が高く、生産性の低下も懸念された。このため、大型自動研削機の導入による工程の見直しを計画。導入で安全性向上、負担軽減、加工時間短縮、精度の均一化などを実現し、さらなる受注増を見据え、2019(令和元)年に補助事業に申請した。

安全性の向上、労働負担の軽減、加工精度の均一化などを図ることで、新規受注の獲得に加え、ボックス形の自動研削機が粉じんを排出しないことから職場環境の改善も図ることにした。

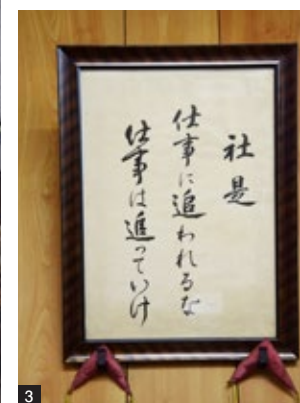
導入により、大型重量製品の研削が従来の手動では1個当たり約5分を要したのが3分弱に短縮され、熟練工2人が行っていた作業が、若手1人でカバーできるようになった。熟練工の技術やノウハウは他部署で生かされており、新たな受注の開拓にも期待が膨らむ。



今岡裕 代表取締役



1 導入した大型重量製品向けのバリンダー
2 研削前の製品(後ろ)と研削後の製品(手前)
3 社員の士気を高める社是



創業者が掲げた社是が 社員の意識を高める

創業者の栄一氏は創業50周年の今年に他界したが、社是として掲げた「仕事に追われるな 仕事は追っていけ」は全社員に浸透しており、仕事をやらされるという意識ではなく、積極的に作業を進める能動性を育んでいる。研削する部品の軸受けの位置取りなどの工夫、工程の見直しによる効率化に生かされるなど、社業推進の大きな支えとなっている。

一方で、受注増が見込まれながら、労働力の確保が困難で、従業員募集の求人を出しても応募がない状態。大ロットの小物部品などの研磨は女性でも可能で、外国人労働者を含め新規雇用も視野に入れる。今岡代表は「島根県は鑄物生産で全国のトップ3にある。従業員が増えれば、仕事も増やせるのに残念でならない」と頭を悩ませながらも、年商1億円をさらにアップさせるため、軽量部品の受注増などで喫緊のテーマともいえる人材の確保を見据えている。

■Company Data

有限会社出雲グレンダリー



バリ取り作業をする従業員

代表者名：今岡裕
設立年：1972(昭和47)年
資本金：11,000千円
従業員数：15名
主たる業種：金属製品製造業
本社：〒693-0051 出雲市小山町45-8
工場：〒691-0003 出雲市灘分町475-1
電話：0853-63-3169
FAX：0853-63-4161

大型重量製品の自動研削機を導入し
安全性向上、加工精度均一化などを図る